



第 2820 地区

HITACHI SOUTH ROTARY CLUB

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

【例 会 場】
【例 会 日】
【事 務 所】

要害クラブ TEL (0294) 36-2020
毎週火曜日 12:00~13:00
日立市桜川町 2-25-3 桜川第 2 ビル 201 号室
TEL (0294) 36-5074 FAX (0294) 37-2176
Mail: info@hitachi-south-rc.org



Weekly Bulletin
週報 No.40

■会 長 荒 川 浩 信 ■副 会 長 池 澤 健
■幹 事 小 笠 原 邦 浩 ■会 報 委 員 鈴 木 幸 一

本日の例会：令和 4 年 6 月 28 日（火） 【プログラム】1 年間を省みて / 会長（夜間例会）

次 回 例 会：令和 4 年 7 月 5 日（火） 【プログラム】会長幹事挨拶 / 会長・幹事

例 会 報 告

6 月 21 日（火）12:00 開会
進行：須田会員

イン開催されました。「ロータリーの財産は人材である」とし、いくつか目標達成のための例が発表されました。

- 次週、夜間例会になります。
- 本年度もよかっぺまつり開催中止の連絡が来ました。



会長の時間

荒川会長



会長の時間をいただきます。

松陰塾ひたちなか足崎校 佐藤塾長、ようこそいらっしゃいました。木本会員、お久しぶりです。

今日で、日立地区産業支援センターでは、荒川年度最後の例会となります。

コロナもだいぶ減ってきております。海外ではマスクをしていない国も多くなってきました。例会時のロータリーソング静聴も、そろそろ声を出して歌ってもいいかを検討していただければと思います。

プログラムは、会長エレクトと佐藤塾長の卓話となっております。楽しみにしています。よろしく願いいたします。

以上、会長の時間といたします。ありがとうございました。



出席報告

星副委員長

会員数	出席	欠席	出席率	MakeUp	修正	免除
26 名	15 名	11 名	62.5%	9 名	100%	7 名



ニコニコ BOX

星副委員長

- ◇ 池澤エレクト、佐藤様 卓話よろしくお願ひします。
荒川会長・小笠原幹事・山本忠安・須田 聡・高島章行・弓野博司・鴨田文利・朝日正道・川崎健輔・石川 悟・佐藤信彦・石川國博・星 勝治
- ◇ しばらくぶりです。
木本貴一
- ◇ 本日は 2 部制です。
池澤 健



本日も多くの方からニコニコ BOX へのご協力 誠にありがとうございました



幹事報告

小笠原幹事

- この会場での幹事報告、最後です。
- 18 日、今年度最後の会長幹事会が開催されました。慰労会が中心でしたが、北茨城 RC のかたと話す機会もあり、人員の問題が話題になりました。
- 19 日、2022-23 年度会員基盤向上セミナーがオンラ

本日計 23,000 円	累計額 976,000 円
--------------	---------------



プログラム

卓話

池澤会長エレクト



- 本日は、次年度方針を述べさせていただきます。
- 次年度方針：
 - ・会員増強（会員 30 名以上体制 女性会員入会）
 - ・青少年への支援（ミニバスケットボール以外の支援）
 - ・地域貢献（ふきのとう支援や近隣祭りの協力）
 - ・公共イメージと認知度の向上
 - ・他クラブとの交流（移動例会や他団体との例会ワイキキ IFF の参加）
 - ・ロータリー財団寄付（150 ドル以上/一人）
 - ・米山奨学会寄付（¥25,000 以上/一人）
- 次年度、大きな変更としては例会回数です。
- 例会は、年間 44 回と入会時に言われました。迷いましたが、ひと月に 4 回必要なのか、私自身思っておりまして。今年は、月 3 回としてみます。しかし、例会を減らすと、ニコニコが減るのではないかと考えています。
- もうひとつ変更として、夜間例会を基本 毎月開催するプログラムとしました。これは、昼間来られない人も来られるのではないかと思うからです。
- 私の年度では、例会回数を減らしてみるなど、いろいろ実験して、試してみようと思います。
- 再来週、方向性をしっかり述べさせていただきます。よろしくお願いいたします。

外部卓話

松陰塾ひたちなか足崎校

佐藤昭夫塾長



- 塾長の佐藤です。よろしくお願いいたします。
- 松陰塾は、全国で 300 以上あります。パソコン学習を主とする塾を日本で最初に始めました。
- 私は昼間は中古車販売、夕方から学習塾をしています。
- 学習塾を始めたのは、子供たちの支援をしたいという気持ちが大きかったからです。知識と教養があれば、人生は豊かになると思います。
- 今日現在の教育関係の現状をお話したいと思います。
- 最近の保護者の気持ちは、「地元の小中高に行き、都心の大学に行き、地元に戻ってきて公務員として働いて欲しい」や「兄弟がいるならば、一人だけでも帰ってきてほしい」です。
- 一方、子供の気持ちは、「とりあえず大学くらい行ったほうが良い」と思っています。ただ、夢や希望を持って大学行くより、夢や希望を探しに大学に行く子供が増えています。
- 勉強は昔よりずいぶん難しくなっています。
- 少子化により、都心の大学の定員も削減方向と言われています。
- 実際、「とりあえず行っておいた方がよい」という考えでは、大学には入学できません。
- 所得と学歴、また、お母さんと子供の学歴は比例すると言われています。そして、お父さんの帰宅時間が遅い家は子供の学歴が高いとも言われています。これは、収入が多い家庭だからではと思われれます。
- 現在は受験のために、学習塾に通う子供がほとんどです。
- 学習塾には、受験生だけでなく不登校の子も来れます。
- 今日高校 3 年生のモデル問題を持ってきました。文章を読み込まないと解けない問題がとて増えてきました。受験対策の勉強が必要です。
- 茨城県では、中高一貫校が増えています。これは、6 年間で学ぶことを 5 年間で学び、最後の 1 年間は大学入試に備えるということです。
- 私は地元を明るい町にしたいと思っています。
- 地域を良くするのは、（一度外に出た）よそ者・若者・馬鹿者なんだという話を聞いたことがあります。
- 私の夢として、優秀な子が地元に戻ってきて貢献するような、人間力が問われる指導をしていきたいと思っています。
- ありがとうございます。

会長の点鐘をもって閉会。